

東京ドームシティ アトラクションズ 夏期限定お化け屋敷

呪い歯 - 密十号の家 -

呪いの“黒い歯”を抜いてください・・・

東京ドームシティ アトラクションズでは、2013年7月19日(金)～9月23日(月・祝)の期間、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏が手掛ける「ホラープロジェクト<黒い歯>」による夏期限定お化け屋敷『呪い歯～密十号の家』(のろいば～みつじゅうごうのいえ)を開催します。

今回のテーマは<歯>です。お客様は“ミツの呪い”がかかった“黒い歯”によって悲惨な死を遂げた主人公・絵美子が潜む家に入り、絵美子の口から“黒い歯”を抜かなければなりません。“ミツの呪い”と“絵美子の怨念”が渦巻く「密十号の家」から、あなたは無事に戻ることができるでしょうか・・・

【開催概要】

- ◎タイトル: 夏期限定お化け屋敷『呪い歯～密十号の家』
- ◎開催期間: 2013年7月19日(金)～9月23日(月・祝)[67日間]
- ◎開催時間: 【絶叫篇】10:00～16:00 【超・絶叫篇】17:00～閉園
※【絶叫篇】と【超・絶叫篇】で演出が一部異なります。
※混雑状況により受付終了時刻が変更になることがあります。
- ◎開催場所: 東京ドームシティ アトラクションズ
- ◎料金: 800円 ※【絶叫篇】はワンデーパスポート利用可
- ◎入場規定: 6歳以上
- ◎テーマ: <歯>
- ◎企画・制作: (株)オフィスバーン
- ◎プロデュース: 五味弘文氏
- ◎URL: <http://mitsu10.com>



【イメージビジュアル】

ホラープロジェクト<黒い歯>

「ホラープロジェクト<黒い歯>」は、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏が手掛けるホラーストーリーを、テレビドラマ×小説×お化け屋敷の三つの異なるステージの連動によってお届けする、これまでに例を見ない新しいプロジェクトです。

プロジェクト公式HP: <http://www.mbs.co.jp/kuroiha>

お客様からのお問い合わせ先: 東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03-3817-6001

◆ミツの呪い

明治時代に、ミツという女性がいました。

彼女は積もり積もった怨みに取り憑かれた挙げ句、村人たちによって刺し殺されてしまいました。

彼女と彼女が背負った怨念は、噛みつくことによって相手に憑依するようになりました。取り憑かれた者は、前歯の裏に「黒い歯」が生え、満月と新月の夜に獣のように凶暴になり、殺戮を始めます。

いつのまにか、取り憑かれた者は番号で呼ばれるようになりました。いわく、「密二号」「密三号」……。

そして、今年の夏、東京に「密十号」が現れたのです。

◆「密十号」の物語

ある家に、絵美子という歯のきれいな女性が嫁いできました。けれど、彼女の魅力であった美しく丈夫な歯が、やがて不幸を呼ぶこととなります。

絵美子は、貴一という男の子を出産しました。貴一には、不思議なことに一年が経っても歯が一本も生えてきません。そのことを苦にした姑は、「お前がそんなに丈夫な歯をしているから貴一に歯が生えないんだ」と言って、絵美子を責めるようになりました。

そんなある日のこと、夫が一体の願掛け人形を持ってきました。その人形に乳歯を入れると、丈夫な永久歯が生えてくるという人形です。しかし、貴一には乳歯さえも生えていません。そこで絵美子は、自分の歯を抜いてその人形に入れることにしました。

絵美子の歯は丈夫で簡単には抜けません。一本の歯を抜くのに、二時間以上もの激痛に耐えなくてはなりません。ようやく抜いた歯を人形に入れて願を掛けましたが、それでも生えてきません。もう一本、さらにもう一本と、絵美子は歯を抜きます。

ある時、貴一は人形に入っていた歯を呑み込んでしまいました。その中には、ミツの呪いが掛かった黒い歯が入っていました。やがて貴一の口の中に念願の歯が生えてきました。けれど、その歯は、黒かったのです。

貴一は高熱を出した挙げ句に、絵美子に噛みついて死んでしまいます。

貴一の死後、今度は絵美子の口の中に、ミツの呪いの黒い歯が生えてきました。ミツに取り憑かれた絵美子は、満月の夜に夫と姑を殺し、獣のように暴れ狂った後に取り押さえられました。

彼女は「私の歯を抜いて……！」と哀願した挙げ句、自ら命を絶ちました。

今も、この家には絵美子の霊や、さらにもっと恐ろしいミツの霊が徘徊していると言われていています……。

◆「密十号の家」設定

この恐ろしい家の中に入ると、どこからともなく女の声が聞こえてきます。

「抜いて……。私の黒い歯を抜いて……」

それは、死んだ絵美子の声です。

どうか、この家のどこかに潜む絵美子から黒い歯を抜いてきてください。

けれど、もう一人、ミツの怨霊もいることを忘れないでください。

お化け屋敷プロデューサー

東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷を「後樂園ゆうえんち」時代の1992年から手がけてきたのが、お化け屋敷プロデューサーの五味弘文氏です。

2009年の『人はなぜ恐怖するのか？』（メディアファクトリー）、2012年の『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか』（角川 one テーマ21）に続き、2013年7月には初の小説となる「憑き歯～密七号の家」（幻冬舎文庫）を出版予定。

恐怖を思索し、お客様が喜ぶお化け屋敷とはどういうものなのかを考え続ける五味弘文氏が今回、初の試みとなるテレビドラマ・小説・お化け屋敷の連動による「ホラープロジェクト＜黒い歯＞」を展開し、『呪い歯～密十号の家』で、東京の夏に最新の恐怖と楽しさをお届けします。

